

沖縄県医師会

これを知ってほしい…

在介他職種連携効率UP！

医療介護専用

SNS徹底説明



かんたんに・・・

こんなに

読谷村診療所 多鹿昌幸

令和6年10月26日(土)
令和6年度 医療介護連携勉強会
沖縄県医師会

多職種連携を促進する医 療介護専用SNS（MCS） の活用事例

読谷村診療所 所長
多鹿昌幸

医師はどのくらい
SNSを使っているか



【調査概要】 調査期間：2023年8月31日～9月6日

対象：「民間医局」会員の医師

回答者数：1,422人（男性1,001人、女性367人、答えたくない54人）

アンケートの結果

医師・初期研修医の5割以上が利用している。

（閲覧頻度が高いのはX（Twitter）、LINE（VROOM）、Instagram）

使用目的は・趣味や自分の興味関心ごとの情報収集、

・交友関係のアカウントチェック、

・暇つぶしといった回答が多いながらも、

・医療情報の収集を目的とする人も一定数みられました。

※引用・「株式会社メディカル・プリンシプル社調べ」

「民間医局コネクト」の掲載記事（<https://connect.doctor-agent.com/article/column532/>）

運営元の株式会社メディカル・プリンシプル社（<https://www.medical-principle.co.jp/>）



**SNSを半数の医師
が利用しているに
も関わらず、
業務ではまだまだ
使っていない。**

介護業界での

IT普及率は



令和5年度「介護労働実態調査」結果の概要

【調査概要】 調査期間：令和5年10月1日～10月31日

対象：全国の介護保険サービス事業所の18,000事業所を無作為抽出

回答者数：有効対象労働者数は51,345人に回収数は20,699人回収率は40.3%。

アンケートの結果

介護事業用アプリが入っているタブレット端末やスマートフォンの活用において、利用者情報の入力には4割程度、他の職員業務連絡できる機能を活用しているのは、3割程度の利用にとどまる。

※引用・「公益財団法人介護労働安定センター」

「介護労働実態調査 <https://www.kaigo-center.or.jp/report/jittai/>



介護事業者は導入
高コストと効率の
見極や、職員個別
のデバイス所持が
これから。

医療介護ともに、みなさんが
使いやすいデバイスであること？

**医療介護連携の
DX化のポイントは**

在宅医療情報連携加算
100点

在宅がん患者緊急時
医療情報連携指導料
200点



自院（病院・クリニック）
医師など



歯医者
歯科医師など



他の病院・クリニック
医師など



訪問看護ステーション
看護師・保健師・PT・OT
など

診療情報等を
ICTツールで
記録・共有



自院の訪問診療患者さん

共有された診療
情報等をもとに
医学管理を実施

ACPに関する情報を
取得・必要な指導実施
※末期の悪性腫瘍の患者が対象



介護支援専門員・相談支援専門員



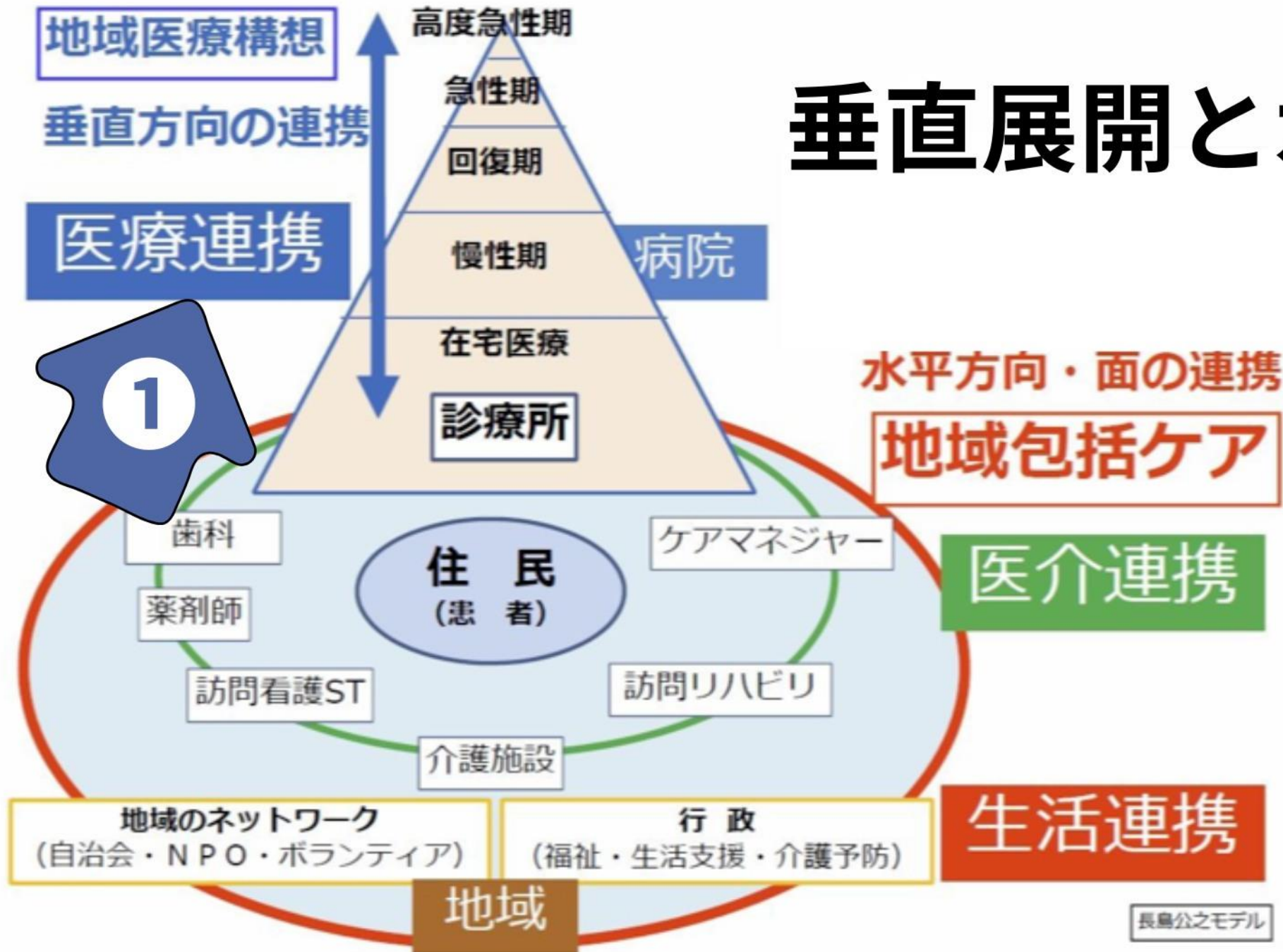
薬局
薬剤師など

事例紹介

栃木県医師会

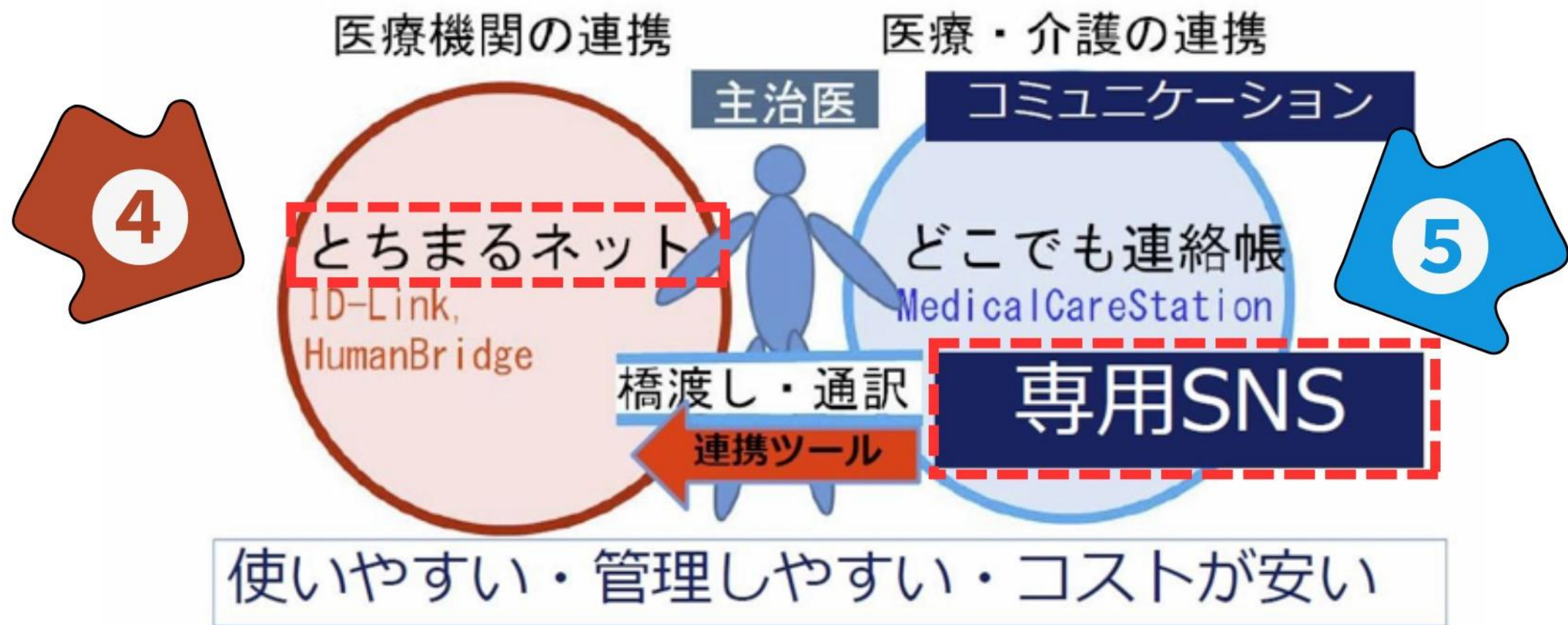
**2つのネットワークを活用した
医療介護連携の地域包括ケア**

垂直展開と水平展開



2種類の連携ネットワークの併用 「とちまるネット」+「どこでも連絡帳」

連携のために必要な情報共有の質・内容・関係職種が大きく異なるため、
それぞれに適した2つのICTネットワークシステムの併用が最も有用である



メディカルケア ステーションとは？



- ・施設の垣根を超えた
他職種連携が簡単に
- ・医療介護に特化した
情報プラットフォーム
- ・患者の治療・ケアの情報を
タイムリー共有することが可能

2.MCSとは

訪問時の状況をタイムリーに管理・共有することにより
患者さまの治療ケアの向上、適切な治療に繋がります

自分の
タイミングで
メッセージを
送信できる

文書以外に
写真、動画の
共有が可能

ご利用シーン

- 在宅医療・在宅介護現場での多職種連携
- 医療・介護施設における職場内での共有

患者さん本人やご家族とのやりとりが可能

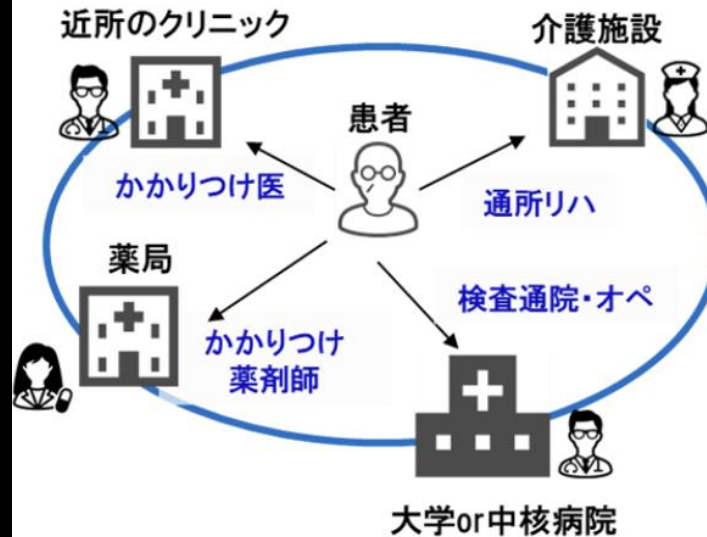


2.MCSとは

お使いの電話、FAX、メールに置き換わる機能を有しています

① 患者タイムライン機能

患者さんの名前毎にグループ作成
連絡帳の代わりとして情報共有



② グループ機能

職場内、地域、職種等自由にグループ作成
議事録や連絡網として情報共有



③ コミュニティ機能

地域、専門性、治療等
様々なテーマの掲示板が公開
興味のある掲示板に参加し情報共有



④ つながり機能

MCSでつながっているスタッフと
1対1のメッセージのやりとりが可能

MCSの活用例

「連絡帳」



アルコール精神病

アルコール精神病

医療・介護側 **患者側**

| **20人**

メッセージを入力して下さい

11/18 17:22

本日デイサービス利用時に、11/20(水)までセットしておいた薬がボックスからなくなっていました。アーガメイトゼリーの減りは予定通りです。本日分も飲んでいないと言われるため、デイで服用し、再度11/20(水)までセットしています。

訪問看護が薬を預かっているという事は記憶していたそうです。デイサービスに5包予備として置いており、予備使用した際は、報告して頂こう伝えています。

15人

多鹿 昌幸 **11/14 21:46**
医師（読谷村診療所）

お薬に関するご提案ならびに実施ありがとうございました。

アガメイトをしっかり内服されているのは、予想に反して（失礼しました）嬉しいです。今度はカリウムが下がりすぎないか確認します。脱水以外にK↑を説明できる状態がないので（バナナの食べ過ぎ？）気をつけたいと思います。



寝屋川市災害医療コーディネーター

📍 寝屋川市

市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市病院協会、市災害医療医療センター（4病院）、医療救護所（

87人

参加する

詳細を見る



岐阜県医師会ぎふコミュニティ 在宅医療介護連携全ユーザーグループ

📍 岐阜県

岐阜県の在宅療養をささえる医療・介護従事者のICT連携を目的とした多職種連携・情報共有のコミュニ



19人

参加する

詳細を見る



丹羽郡大口町・扶桑町災害時情報共有グループ

📍 愛知県

丹羽郡大口町・扶桑町にある医療・介護サービス事業所を対象とした災害情報を取り扱うグループです。

97人

参加する

詳細を見る

と BIND Region

心不全療養指導士と

心不全看護認定看護師のコミュニティ



心不全療養指導士と心不全看護認定看護師を中心としたコミュニティ (BIND Region)

📍 全国 / 東京都

東京女子医科大学病院の心不全療養指導士と慢性心不全認定看護師が運営するコミュニティです。心不全



35人

心不全

慢性心不全

内科

在宅

心臓血管外科

循環器科

医師

看護師

他2

参加する

詳細を見る

読谷村でのひろがり

1. 当院と訪問看護ST花織さんから開始
2. 花織さんのビジネスSNSになる。
3. 他訪看ST、ケアマネ、介護施設を誘う形で拡大

MCS運用のメリット

1. 場所を選ばず、空いた時間でチェックできる。
スマホ・タブレット・PCどこからでもアクセス
2. グループで関わっていると、看護師、クラークからの代行入力に対応ができる。
3. PDF書類、画像、動画を添付できる。

MCS運用の課題

1. フォロー数が多くなってくると、重要な情報が埋もれてしまう可能性がある。
2. 比較的急ぎの相談がある。
3. アカウント管理 村包括に打診



課題解決の具体例

1. 「依頼」「相談」「報告」とメッセージの目的の記載
2. 急変、急ぎの依頼は電話を入れるよう指示
3. クラークに電子カルテに転載指示



Take Home Message

1. 情報共有ツールとしてのMCS（Medical Care Station）の紹介
2. 介護事業所を含む地域包括ケア＝横の連携　に有用
3. 行政（包括）・医師会単位の管理に期待